

海外短期プログラム参加者 報告書		<p>※ 帰国後 15 日以内に提出してください。</p> <p>※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)</p>
留学先大学名	上海交通大学 (Shanghai Jiao Tong University) (国名: 中国)	
参加プログラム名	Summer Research Internship program @SJTU	
プログラム期間	2019 年 7 月 ~ 2019 年 8 月	
学部/学府・年次	工学部	4 年次
参加に要した費用	<p>協定に基づく授業料免除の有無 → 有</p> <p>「有」の場合、免除額を記入してください( 不明 )</p>	
	<p>航空運賃はいくらかかりましたか? ( 往復約 6 万円(中国東方航空) )</p>	
	<p>その他相手先大学に納入した費用を具体的に記入してください(例:教材費、宿舍費、オプションの見学旅行など)</p> <p>大学:オプションの旅行(希望者のみ、自分は参加しなかったがとても良かったと聞きました)</p> <p>Shanghai one day, Hangzhou/Suzhou/Shaoxing two days trip それぞれ 200RMB~500RMB ほどだったと思います。</p> <p>その他個人的費用:食費(1回 20~30RMB), アパート(1泊 135RMB), 保険代(付帯海学)</p>	
このプログラムを選んだ理由	<p>トビタテの実践活動のためにインターンシップを探していたため。</p> <p>また、選択可能なインターンシップの学科が豊富にあり、幅広いトピックの中から自分のやりたいことを選ぶことができるため。また、期間的にも 1 か月半と、ちょうど良い長さであったため。</p>	

進路の予定	1. 就職（時期：4月から / （ ）月から） 2. 大学院進学 3. その他(具体的に: )
1・参加プログラムと大学について	
プログラム(カリキュラム等)の概要について	Summer Research Internship を選択してもまず最初の 2 週間はほかの Summer School の生徒と一緒に同じ内容のことをします。僕のトピック(Topic No.53)では、4、5 人のグループに分かれて、上海の市内の実際にある駐車場を見学し、そこをどのように改良、改善すれば市民がより好む建造物を構築できるか。というものでした。これについて 2 週間、午前中は講義を受け、午後にグループワークをする、という感じです。僕の取り組んだ Topic が都市開発だからなのかは不明ですが、頻りにフィールドトリップが行われます。フィールドトリップといっても観光に行くような感覚でしたのでそこまで勉強勉強といったものではありません。また、希望者は週に 1 回火曜日の午後から中国語の授業を受講できます。僕も最初の 1 回のみ受講していましたが正直好みがわかるかなと思います。まず、ものすごい基本的なことのみであることと、ペースが非常に遅いことです。ほかの外国から来た生徒との交流を望まない限りはあまりお勧めはできません。その 2 週間の後は 4 週間の Summer Research Internship の始まりです。人数は 3 人(韓国人とクロアチア人と自分)でした。研究室配属のような形で、自分のデスクも割り当てられます。ここでは、本来は 3 人でグループワークを取り組む予定でしたが教授の都合で一人一人に課題テーマを与え、それを調べる、またはシミュレーションしたりするものでした。ちなみに僕は ArcGIS, Phoениcs を用いて、メトロポリタンにおける風の抜け方およびヒートアイランド現象について取り組みました。
主催大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)	語学面： 基本的に英語のプログラムであり世界各国から生徒が集まるため、英語のみで十分ですが、中国語を話せることに越したことはありません。中国語ゼロの僕は食堂での注文もままになりませんでした。ぜひ勉強してから行ってほしいです。 勉学面： Summer School、Research Internship どちらも最後にファイナルプレゼンテーションがあります。Research Internship に関しては毎週末に進行報告も兼ねてプレゼンが行われました。 精神面： 日本が近いので安心です。と言いたいところですが、ビザの関係上 1 度入国すると 2 度目はビザが失効するまで再入国できないので気を付けてください。ですが、やはりグループワーク等でストレスはたまると思います。僕の場合もグループの一人がほとんど参加せず、参加しても TA の人と口論して…のようなこともありますので、仲の良い友人を現地で作ればと思います。僕は現地で仲良くなったパキスタン人と愚痴ったりして解消していました。愚痴るほど仲が深まりました。住居・生活面：僕はドミトリーの応募が遅れたため、アパートを Airbnb 経由で探して住んでいました。ですが、ドミトリーのほうを強くお勧めします。何はともあれ、学校が近いと便利なのと、アパートはほぼ確実にシェアハウスになります。しかし、自分の選択する Topic によって、Minghan campus か、Xuhui campus か異なりますので、しっかりとメールをチェックするとよいと思います。また、Xuhui campus のドミトリーはすぐ埋まりますので、気を付けてください。あと、ホテルについてですが、僕は最初、Airbnb で予約していたら渡航直前に急に拒否されたので最初の数日間はホテルに滞在していました。ですが安いホテルは大体 Chinese residential only となっており、外国人は泊まることができませんでした。このようなこともあるので気を付けておいて下さい。

<p>プログラムおよび大学に対する感想</p>	<p>上海交通大学は大きいキャンパスでとても迫力があります。また、学生の質も高く、さすが中国内でもレベルの高い大学だと思われました。この Summer School では基本的に Minghan か Xuhui campus なのだが、Xuhui のほうは都会に立地しているため、どこに行くにしてもとても便利良いです。年式の経った歴史ある建物内で勉強することができ、また、22時ごろまで多くの建物が開いているため、学習環境も整っているといえます。学食も色々あり、まず値段がとても安いことにとっても驚きました。ただ、そのコストの低い料理にありつくには朝・昼・夜の時間が決まっているので九大のように営業時間内なら常に開いているというわけではないのが注意しないといけないところです。プログラムに関しては、国際色豊かで非常に楽しかった、の一言につきまします。僕の Topic ではポルトガル、デンマーク、イタリア、クロアチア、ロシア、アメリカ、パキスタン、台湾、韓国、と、とてもインターナショナルな環境で学習できました。また、びっくりしたことが日本人の Summer School 生をだれも見つけることができなかつたことです。全 Topic 内でもいたのかすらわかりませんでした。グループワークでは会話の共通言語は中国語か英語であり、コミュニケーション多めなので楽しい日々を過ごせました。また、何か問題があれば Student Service Center に行くと、留学生コーナーもあり英語で質問もできるため心強かったです。</p>
<p>同じプログラムを希望する人々へのアドバイス</p>	<p>まず中国ではインターネットが使えないです。僕はろくに調べずに空港の Wifi で調べようと思いましたが、スマートフォンの検索エンジンがすべて Google/Yahoo! であるのでそもそもの調べることができず焦りました。Google map 等も当然使えないので、まずは良く調べてから渡航してください。ちなみに Baidu(百度)が Google のようなものです。また、それを回避するために渡航前にはぜひ vpn 契約をしておいてください。その他のおすすめアプリとしては、</p> <p>Baidu Translate(翻訳)</p> <p>Hello Bike(中国では自転車の乗り捨てレンタルが非常に盛んで、とても多く使われている。このアプリは中国版の iOS からでないとダウンロードできない(日本版からだと Torch の偽アプリがダウンロードできます)が Alipay から自転車についているコードをスキャンしてレンタル料を支払いができる。)</p> <p>Alipay(LINE pay のようなもので中国ではどこでもこれで支払いができる)</p> <p>Wechat(日本でいうLINE、既読はつきません!)</p> <p>Baidu map(地図アプリ)</p> <p>Bank of China(中国では銀行を開設しないと Alipay および Wechat Pay が使えない)</p> <p>DiDi(配車サービス、中国版 Uber)</p> <p>食我了公(出前アプリ、中国版 Uber eats)</p> <p>また、支払い方法ですが、基本的に Alipay か Wechat pay がないととても不便になりますので、銀行を開設することを強くお勧めします。また、日本からの送金も Chinese nationality 以外の人の所有する口座には送金できないので注意してください。クレジットカードは Visa, Master はたまに使えます。銀聯カードを持って行ってください。</p>
<p>2・事前手続き(ビザ申請などが必要であった場合)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>X-2</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>中国領事館(福岡市)</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>必要書類; 入学許可証の原本・コピー、記入済みビザ申請表、パスポート、パスポートのコピー、顔写真 手続き: 予約等はなく、直接領事館へ行き順番待ちをしたら呼ばれて、書類を確認した のち、後日発行されることが伝えられ、それを再度訪問して取りに行きます。</p>

手続きに要した時間	30分ほど
その他必要な事前手続きがあれば記入してください	顔写真が厳しいとネット情報で載っていたため、それを調べてから(すみません、サイズは忘れました)伊都イオンの富士フィルムのカメラボックスでとったのですが、領事館に証明写真機ががつつりとあります。最初それみたときはショックでした。そちらで撮影して全然大丈夫です。証明写真の背景は白なので服は色付きでないといけならしい(すみません、定かではありません)ので気を付けてください。また、コピーを忘れても原本さえあればコピー機も領事館にあります。あと、パスポート受け取り時に 3000 円ほど支払いがあります。
3・日常生活	
日常生活の概要、感想	日々の生活は充実していました。食費も安くて本場の中華が食べれるため飽きることはありませんでした。またやはり世界各国の人に囲まれる生活はとても生き生きとされていて楽しいことこの上ありませんでした。勉強はもちろんファイナルプレゼンテーションでもそれなりのものが求められるため大変でしたが、それでもとても楽しかったです。加えて、やはり本場の中華は麻婆豆腐を除きとてもおいしいです。ですが中華料理以外となると値段が高くなります。あと、気を付けてほしいのはウォーターサーバーです。古いものがありますが、使わないようにしてください。最初は何も気にせずウォーターサーバーからの水を飲んでいましたが下痢が続きました。新しいもののウォーターサーバーか、水は購入して飲むほうが良いと思います。交通網も発展していてどこに行くのも便利です。特に上海市の地下鉄は日本よりもはるかに便数が多く、2, 3 分に一本通ります。中国内で唯一不便だったのはインターネットです。中国でのインターネットに関しては VPN を使用すると日本にいるのと変わらずに検索等できますが、代償として、ネットスピードは極端に落ちます。例えば、vpn を使って LINE で 1 枚の写真を送るのに失敗し続けて 15 分くらいかかるときもありました。また VPN はよく接続が切れるためお母さんが大好きな人は気を付けてください。電話がしづらい時間帯があったりします。
生活費(全期間)及びおおよその内訳	アパート代:1日 135RMB × 45日 = 6075RMB 食費:1日 60RMB × 45日 = 2700RMB = 8775RMB その他:ジム 1回 1時間 5RMB, 地下鉄 1回 3~7RMB, 映画 1回 25~80RMB
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	特にありません。 必要な人は変圧器。またプラグの形は違いますが日本のも入るので基本的には大丈夫です。
日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	安全面は特筆して気を付けることはありませんが、横断歩道には気を付けてください。スクーターと自転車が信号赤でも(多分中国では赤での右折は OK)やってくるので中国人も言っていました、自分の身は自分で守って下さい。あとはありません。中国人によく間違えられるので多分日本人は大丈夫です。レジャーとしては最新の映画がとても安く見れるのでお勧めです。僕は Spiderman home: far from home の 3D がたった 28RMB(約 420 円)で見れました。気を付けてほしいのが、映画の音声種類がなぜか 3 種類あることがたまにあります。国語、英語、原版の 3 種類ですが、それぞれ中国語、英語と中国語字幕、原版は英語と全く同じです。日本の映画もたまにあります。僕の時はずと千尋がありました。その時は国語と日本語から選べます。

<p>お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。</p>	<p>先述しましたが、Alipayか Wechat payがないと中国で生きていけません。Visa, masterも基本使えないので、銀聯カードは持って行ってください。僕は持って行かなくてすごく大変だったので気を付けてください。また、銀行開設については、僕は中国銀行を開設しましたが、多分留学生はこれを勧めらると思います。支店によっては留学生に厳しいところもあるみたいですが、Minghanの学内の支店だとスムーズにできました。電話番号とパスポートを持って行ってください。(電話の契約はRegistration dayに簡単にできます(自分はChina Unicomで月100RMBで20GB)。この時の支払いは現金のみでしたが近くにATMがありおろせます。)また、国際送金は先ほど言ったように中国ではとてもややこしいのでよく調べておく必要があります。</p> <p>留学生は自分の口座に日本から送金してもらうことは不可能で、諸外国から外国人の中国口座への送金は不可能 諸外国から中国人の中国口座への送金は可能 ですので、気を付けてください。</p> <p>特に大金が必要な時等は何かと送金が必要になると思いますが、僕はアパート契約するほどのお金を手持ちにもってなかったため、その人の中国口座に日本から両親に送金してもらいました。</p>
---	---

#### 4・宿舎・生活環境

<p>宿舎の種類(○印をつける)</p>	<p>・大学の寮 ・ホテル・<u>その他</u>( 民間アパート(シェアハウス) )</p>
<p>立地</p>	<p>とても良い</p>
<p>伝えたい地域情報、生活情報</p>	<p>おそらくこの上海に住んでも空気はお世辞にもきれいとは言いがたいです。また、アパートの部屋もそこまできれいではありません。心が寛容になっておく必要があります。ですが、Xuhuiではキャンパスの周りはとても都会ですので、月額が学生寮と比べれば高いですが、探せばいくらでもアパートはあると思います。食べる場所やレジャーもたくさんあります。</p>

#### 5・その他の特記事項

発展した大都市の側面と、さらに発展をしようとしている発展途上の側面、そしてまるで東南アジアにいるかのような住居形態の側面、色々な面をもった上海は中国留学でとてもおすすめですし、Summer Schoolで諸外国の人と切磋琢磨して学習するのはとても良い経験でした。ぜひ経験してほしいです。多くのResearch Topicがあるので九大のどの学部、学科からでも応募できます。九大のアカデミックカレンダーまたは院試のスケジュール的に難しいかもしれませんが、余裕がありましたらぜひ検討してみてください。